

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)	授業コード	C172581
担当教員名	赤星 哲也	科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件			
受講心得			
教科書	「入門 自然言語処理」 著者: Steven Bird他 翻訳: 萩原正人・他 出版社: オライリージャパン ISBN:978-4873114705 発行日: 2010年11月		
参考文献及び指定図書	(Webサイト) 「Python 2.7ja1 日本語ドキュメント」 http://docs.python.jp/2/ 「言語情報処理ポータル」 http://nlp.kuee.kyoto-u.ac.jp/NLP_Portal/ 「NLTK -- Natural Language Toolkit」 http://www.nltk.org/ (書籍) 「みんなのPython 第3版」 著者: 柴田淳 出版社: ソフトバンククリエイティブ ISBN: 4797371595「自然言語処理(岩波講座ソフトウェア科学15)」 編者: 長尾真 出版社: 岩波書店 ISBN: 978-4000103558 出版年: 1996年4月 「IT Text 自然言語処理」 編者: 情報処理学会 出版社: オーム社 ISBN: 978-4274204654 出版年: 2007年10月 「これからレポート・卒論を書く若者のために」 著者: 酒井聡樹 出版社: 共立出版 ISBN: 978-4320005747 出版年: 2007年5月 (月刊誌) 「日経ソフトウェア」 ※NBU大学図書館・情報検索サービス「日経BP社記事検索サービス」を用いて閲覧可 http://bizboard.nikkeibp.co.jp/daigaku/		
関連科目	卒業研究、研究ゼミナールA		

授業の目的	卒業研究を行う上で必要となる専門分野の基礎知識・手法を修得する。卒業研究を遂行する上で必要となる研究手法を修得する。
授業の概要	赤星研究室の主な研究テーマである「自然言語知識」に関する専門書を演習を交えながら輪読する。また、卒業研究を遂行する上で必要となる研究手法を演習形式で学ぶ。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：自然言語処理の基礎 自然言語処理に関する基礎的な知識・手法について演習形式で習得する	教科書 演習問題
第2週：自然言語処理の基礎 自然言語処理に関する基礎的な知識・手法について演習形式で習得する	教科書 演習問題
第3週：自然言語処理の基礎 自然言語処理に関する基礎的な知識・手法について演習形式で習得する	教科書 演習問題
第4週：自然言語処理の基礎 自然言語処理に関する基礎的な知識・手法について演習形式で習得する	教科書 演習問題

第5週：自然言語処理の基礎 自然言語処理に関する基礎的な知識・手法について演習形式で習得する	教科書 演習問題	
第6週：自然言語処理の基礎 自然言語処理に関する基礎的な知識・手法について演習形式で習得する	教科書 演習問題	
第7週：自然言語処理の基礎 自然言語処理に関する基礎的な知識・手法について演習形式で習得する	教科書 演習問題	
第8週：自然言語処理の基礎 自然言語処理に関する基礎的な知識・手法について演習形式で習得する	教科書 演習問題	
第9週：自然言語処理の基礎 自然言語処理に関する基礎的な知識・手法について演習形式で習得する	教科書 演習問題	
第10週：自然言語処理の基礎 自然言語処理に関する基礎的な知識・手法について演習形式で習得する	教科書 演習問題	
第11週：卒業研究に向けた準備 卒業研究を行う上で必要となる研究手法について学ぶ	演習	
第12週：卒業研究に向けた準備 卒業研究を行う上で必要となる研究手法について学ぶ	演習	
第13週：卒業研究に向けた準備 卒業研究を行う上で必要となる研究手法について学ぶ	演習	
第14週：卒業研究に向けた準備 卒業研究を行う上で必要となる研究手法について学ぶ	演習	
第15週：卒業研究に向けた準備 卒業研究を行う上で必要となる研究手法について学ぶ	演習	
第16週：		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	自分の専門分野を見つけ出し、問題意識をもつ。
【知識・理解】	自然言語処理に関する基礎知識について理解し、説明できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	自然言語処理に関する基礎知識を用いて、与えられた演習問題を解くことができる。 卒業研究を遂行する上で必要となるスキルを身につける。
【思考・判断・創造】	卒業研究テーマを構想する。

○成績評価基準(合計100点)	合計欄	100点
-----------------	-----	------

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点	20点
【知識・理解】 ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点	

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	[Sレベル]到達目標を満たしている。 [Aレベル]到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]到達目標を一部満たしている。
発表・その他 (無形成果)	欠席、遅刻を含めた受講態度を評価します。